

22年度事業報告書

部 署	特別養護老人ホーム さつき荘
項 目	内 容
年間を見ての所感	
品質基本方針	『職員の資質の向上』
	看護・介護の知識を習得するために、施設外で行われる各研修会
	には積極的に参加した。
	また、研修後には書面で職員に報告し、新しい知識を皆に周知した。
	スキルチャートでは個人の仕事能力を自覚・評価し、個々に目標を
	たてスキルアップに励んだ。目標の資格を取得した者・利用者の個別の
	満足度向上に向けて取り組んだ者と達成できたという反省を確認した。
	『ヒヤリハット(危機管理の徹底)と予防措置の教育』
	(1) 介護技術・感染症対策などのスキルアップ研修へ参加
	(2) 各ユニットでのヒヤリハットマップに加え、事故リスクの高い利用者
	に対して、場所別ヒヤリハットを提出し、危険箇所を確認したことは、
	事故削減に繋がった。
	(3) 施設内外での人的事故・感染症は無かった。また災害事故にかんしても
	『職員は利用者の満足向上の為の要望を把握し実行する』
	(1) 利用者及び家族からの要望を聞くために、アンケート調査を行った。
	今年度は共有空間の臭いについて、プレバントの噴霧・力を入れた
	口腔ケアの成果が見られたのか、改善されている結果が出た。
	(別添参照)
	(2) 苦情については、解決の為の委員会を開催する苦情は無かった。
	自由記述のアンケートでは、衣類の間違ひについての意見を頂いた。
	この点については、連絡調整会議にて各ユニットに伝え注意を促した。
	その他夏の面会時には、エアコンの室外機による熱風について・室内の
	温度についてなど「どうにかならないか」とのお話があった点の対応は
	今後の課題となる。
	(3) ユニット内では工夫を凝らし、それぞれが思う様な生活に近づくための
	生活支援を行った。
	『利用者への禁止事項』
	禁止事項に反するような、身体拘束や虐待などは無かった。

部 署	特別養護老人ホーム さつき荘	
項 目	内 容	
平成22年度目標に		
関して	各課及び委員会の目標に対するの所感。	
事故防止委員会及び	(1) 介護中、若しくは見守り可能な時の大きな事故は無かったが、	
介護課・和田の家	居室での転倒による骨折の事故が発生した。	
	転倒・転落事故は53件と事故全体の(68.8%)とほぼ昨年同様の	
	結果となった。	
	委員会では、事故発生通知書の検討を行い、他ユニットで発生した	
	事故について周知し再発防止に繋げた。また、事故の多い利用者特定し	
	対策を検討しリスク軽減の対策をとった。	
	見守り可能なホールでの事故が昨年16件に比べて11件と減少傾向に	
	あったのは、職員間の声かけ・連携が改善されてきた成果と思われる。	
褥そう対策委員会	(1) 皮膚が弱いなど、体質の問題で褥そうを再発される方が居る。	
及び看護課	出来やすいとわかっている方に対して、その部位に対する配慮が	
	足りなかった当てるは、反省している。	
	(2) 入所前や入院中に褥そうが出来てしまった方もいるが、施設内で、新たな	
感染症対策委員会	(1) 感染症発生者ゼロ。目標を達成することが出来た。	
及び看護課	インフルエンザについては、利用者全員が予防接種を行うとともに、	
	職員の感染症予防に対する意識が高まり、発生を防ぐことが出来た。	
	(2) 歯科医師との連携もとれ、ユニットでは歯ブラシ・クルリーナブラシを	
	活用し口腔ケアを行った。この事が口臭予防・肺炎予防に繋がった。	
	誤嚥性肺炎については、平成21年度が12件だったのに対し今年度は	
	8件と減った。(口腔ケアとともに、肺炎ワクチン接種の効果も考えられる。)	
介護看護課・和田の家	(1) プランの作成時には、私の気持ちシートも参考資料として加えた。	
	私の気持ちシートを担当者会議前に作成し参考とする事で、本人の意向を	
	組み込むことが出来た。、	
	作業療法士が中心となり、お楽しみクラブを開催。ユニット内の活動も加え	
	日々豊かな生活が出来るよう工夫した。	
	(ゆにっと報告参照)	

部 署	特別養護老人ホーム さつき荘	
項 目	内 容	
食養課	(1) 調理台より一般細菌が検出された。この点については、盛り付け台(調理台)の作業終了時の消毒方法を変え対応した。	
	(2) 滑らか食で試してみたが、あまり評判が良くない為ソフト食を導入、ロール白菜や豆腐ハンバーグ他のメニューを加えた。	
給食委員会	(1) 各ユニットから出された希望献立を実施。(いなり寿司・てんぷらなど)利用者の皆さんに喜んでもらう事が出来た。	
	(2) 新たな食品を4品以上増やす目標については、業者内での理由やスタッフの変更などがあり達成出来なかった。	
防災委員会	(1) 各訓練を予定通りに実施した。	
	しかし、スタッフ全員が 通報・消火・避難誘導・安全確認まで出来るようになる目標には到達できなかった。	
	消火訓練は回を重ねるごとに、経験者は増えているが未実施者もあり今後の訓練へ参加で消火器具の操作を身につけてもらう予定だ。	
	また、3月11日の大地震の際には、各職員が協力し避難誘導を手際よく出来た事は、日頃の災害に対する心構えと練習の成果と思われる。	
	安全確認の基準を明確にする事が今後の課題としてあげられる。	

部 署		食 養 課		
項 目		内 容		
年間行事実績		月	行事・事業内容	実施場所
・毎月お誕生日(赤飯)を実施した。		4	今月の誕生日 お花見献立 昭和の日	厨房
・希望献立を10月から2月にかけて実施した。		5	緑茶の日 子供の日 今月の誕生日 母の日 そば打ち	厨房
		6	今月の誕生日 入梅 父の日	厨房
		7	今月の誕生日 七夕 中庭で焼きそば 味めぐり(九州) 土用丑の日	厨房
各月害虫駆除実施		8	今月の誕生日 味めぐり(沖縄) お盆	厨房
		9	今月の誕生日 味めぐり(名古屋) 敬老の日(祝い膳) みのり膳	厨房
		10	希望献立 今月の誕生日 味めぐり(東北) 手打ちそば ハロウィン	厨房
		11	希望献立 今月の誕生日 味めぐり(四国)	厨房
		12	今月の誕生日 冬至 クリスマス・イブ 大晦日	厨房
		1	おせち料理・七草粥 鏡開きおしるこ 小正月小豆粥 今月の誕生日	厨房
		2	節分 今月の誕生日 初午 バレンタイン	厨房
		3	ひな祭り 今月の誕生日 ホワイトデー	厨房
年間を見ての所感				
(良かった点)		栄養士さんが代わり要望に答えて下さるようになった。(H22、12月から)		
(反省すべき点)		防疫パトロールの厨房内の細菌検査で2年連続細菌が検出している。		
(所属長の評価)		委託業者の不備が初歩的なことが出来ていなかった。その都度話し合いをして改善してもらおうが、委託業者の質の向上を望みます。		